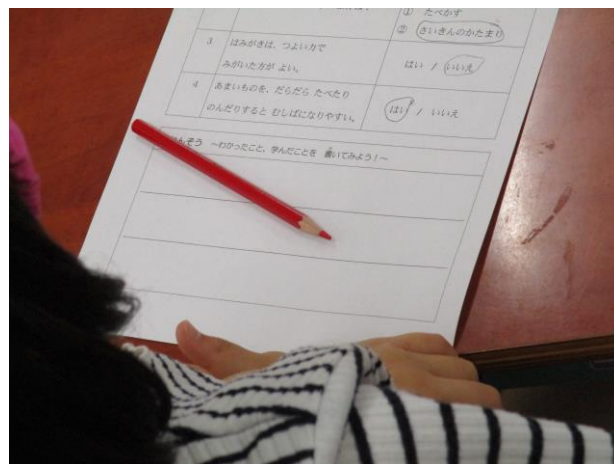
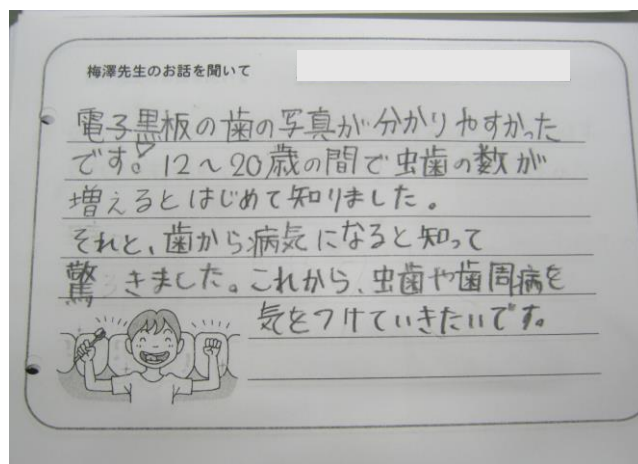


## 5. 健康教育の取組

### ① ゲストティーチャーによる歯の学習（1・2・4・6年）



大田区保健所調布地域健康課の歯科衛生士さんをお招きし、歯の役割と第一大臼歯のみがき方、むし歯になりにくいおやつ選び方について、1・2・4年生が学習しました。その日から1週間、各家庭で歯みがきカレンダーに取り組みました。習ったブラッシングの方法を家で実際にやってみた後、プラークテスターでみがき残しのチェックを行いました。



6年生は、学校歯科医の梅澤先生から、歯周病の予防について学びました。歯周病で歯が抜け落ちた様子や、飲み物に含まれる砂糖の量等、写真や図を用いて分かりやすく教えていただきました。

#### 学校歯科医 梅澤先生より

今年度も6年生を対象に、歯の学習をさせていただきました。皆さん大変興味をもって聞いてくれていました。子どもたちにとって、大人になるまで歯の授業を受けることはないと思いますので、内容は大人になってから注意することも含め、少しインパクトのあるものにしました。

皆さん質問もいっぱいしてくれて、やりがいのある授業になりました。今回の話を忘れずに、赤松の子どもたちには、将来も歯を失わない大人になってほしいです。

## ② 養護教諭が学級で行う保健指導



5・6年生に向けた保健指導『ストレスと上手に付き合おう』。ストレスの度合いとその原因を振り返って、どのように対処すると良いか、意見を出し合いました。問題の解決のために行動してみる、周りに相談する、気分を変える・リラックスする等、様々な対処法を学びました。



3年生では、むし菌の成り立ちについて学習しました。ミュータンス菌が出す酸で歯が溶かされむし歯ができる様子を、キャラクターを動かしながら見ていきました。7月に実施し、子どもたちが夏休み中の歯みがき・おやつのとりを意識できるようにしました。